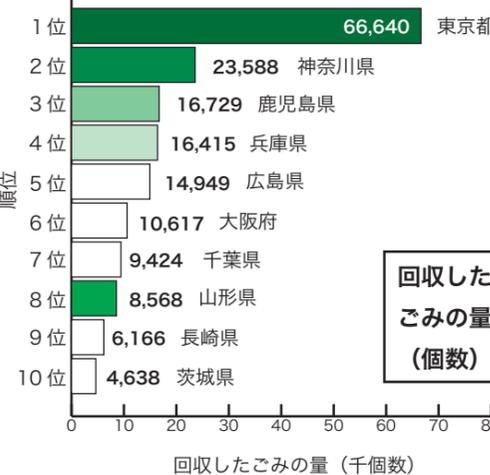
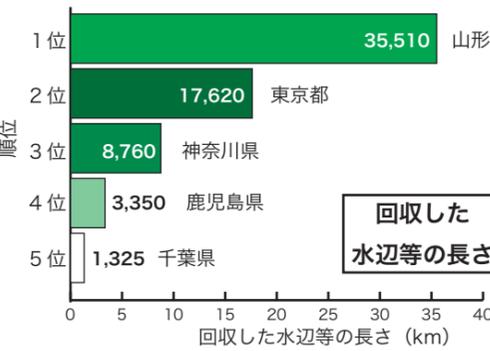
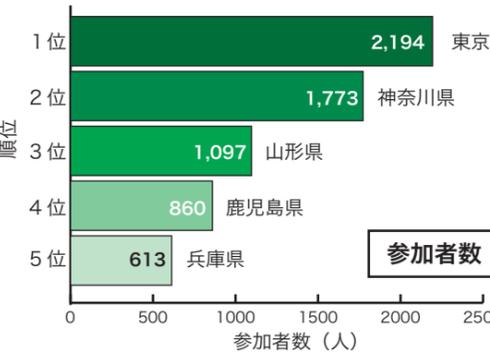
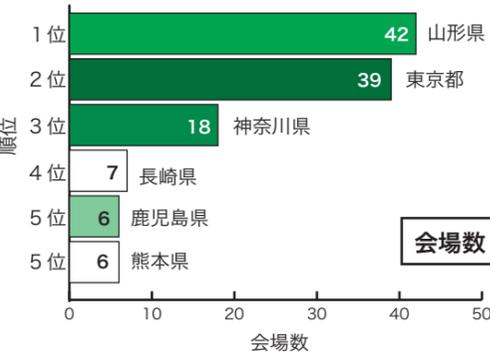


# International Coastal Cleanup 2014

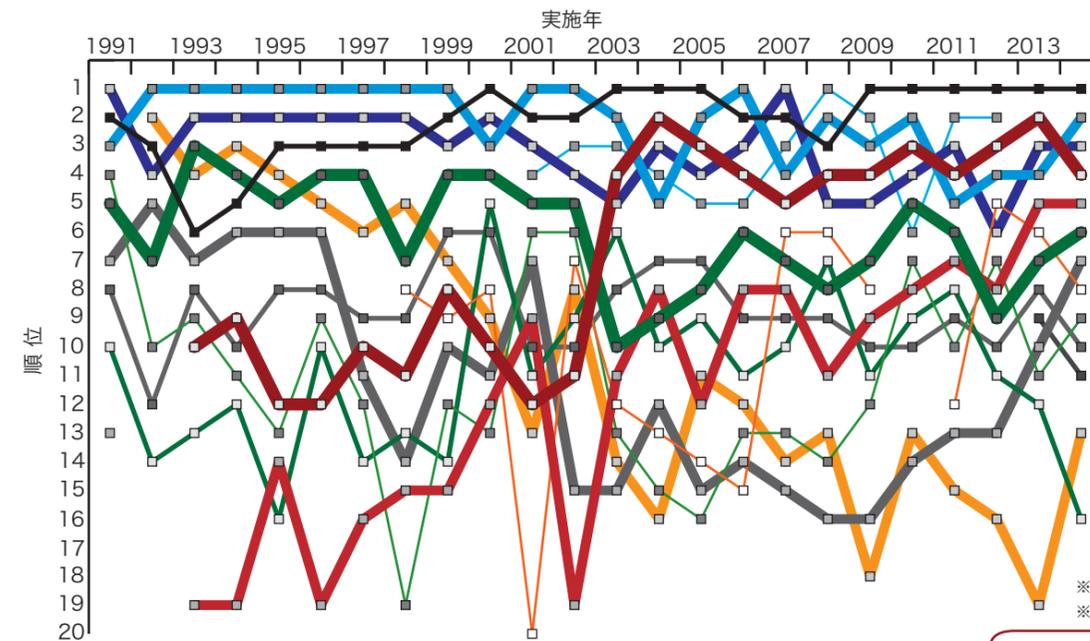
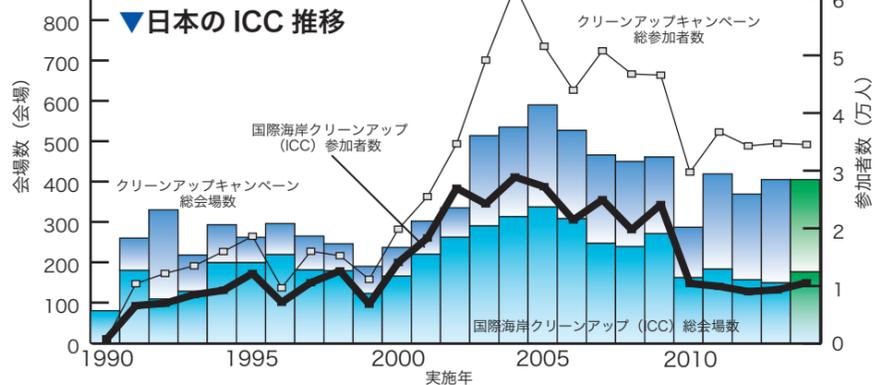
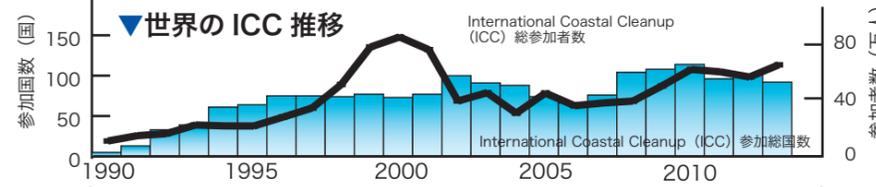
## 国際海岸クリーンアップ2014 総合結果概要

2014年秋の国際海岸クリーンアップ(International Coastal Cleanup: ICC)には、昨年より1,233人多い10,570人が176会場に参加しました。89kmの海岸および水中から一つひとつ丁寧に拾い上げられたごみの総数は、219,933個にも達しました。ここでは総合結果の概要を紹介します。

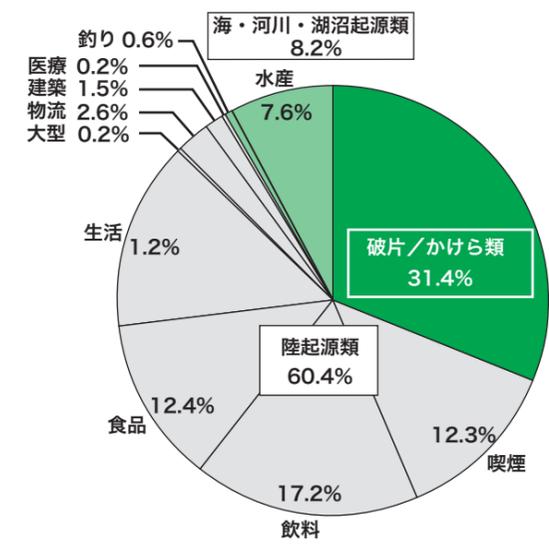


### ▲ ICC 都道府県別参加状況トップ5 & 10

●日本では2005年をピークにICC会場数、参加者数ともに減少傾向。



- 「破片/かけら類」は、4品目中3品目がトップ10 (29.1%)
- 「陸起源類」は、32品目中6品目がトップ10
- 「陸起源類」に占めるトップ10の割合は、全体の32.6%。トップ20の割合は、全体の48.9%
- 「海・河川・湖沼起源類」では、カキ養殖用まめ管が8位
- 製品類(破片/かけら類以外)のトップ10(総合13位まで)は、製品類全体の64.2%、全体の44.1%



●「破片/かけら類」の割合は31.4% (昨年39.7%)

●「破片/かけら類」は海岸で4割を越えたが、河川では2割、水中・内陸では1割以下。

●海岸における「破片/かけら類」の1品目あたりの回収個数は、「陸起源類」の約4倍

●「陸起源類」では日常生活に起因するものが9割以上

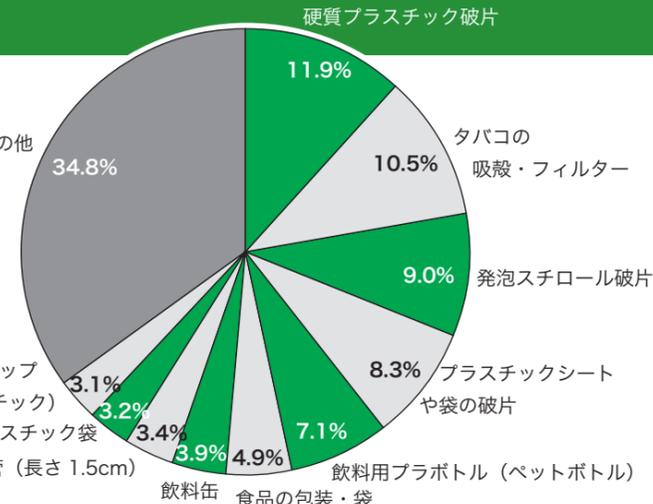
●瀬戸内海では「海運・水産業」が23.8%。カキ養殖用まめ管、パイプが原因

●海岸における「陸起源類」:「海・河川・湖沼起源類」=4:1

- トップ3の出現頻度は、1位 硬質プラスチック (22年)、2位 タバコの吸殻・フィルター (19年)、3位 発泡スチロール破片 (16年)
- トップ10の出現品目は、24年間大きな変化なし
- トップ1は、タバコの吸殻・フィルター (1990年代) から硬質プラスチック破片 (2000年代) へ
- 24年間で順位上昇品目: プラスチックシートや袋の破片、飲料用プラボトル
- 24年間で順位降下品目: 花火 (今年度は13位に上昇)
- 食品の包装・容器は2000年から、飲料缶は2010年から順位上昇

### まとめ

- 数量もさることながら、種類も多い。
  - 破片/かけら類が4割を占める。
  - 上位品目はここ数年大きな変化はない。
  - 破片を除くと、陸起源類:海・河川・湖沼起源類は4:1で、陸域起源が主である。
  - 日常生活で私たちが使用しているプラスチック製品、特に「飲料」「食品」「喫煙」「生活」関係のごみが陸起源類の9割以上を占める。
  - 瀬戸内海におけるカキ養殖用パイプ問題は解決されていない。
  - 製品類のトップ10は全体の5割以下しかなく、製品類ごみの発生抑制だけでは海ごみ問題を解決することはできない。
- これら海洋に流出したごみは、一度海底に沈むと回収が困難となり、また海に流出したごみは、海の流れによって広域に拡散していきます。産業や医療に関わるごみの流出も大きな問題ですが、私たちはまず、「飲料」「食品」「喫煙」「生活」など日常生活に起因するごみが海のごみの主体であり、海と離れた陸上に住む私たちの生活が海洋に大きな負担をかけていることに気付かなければなりません。また近年、海岸に放置されたごみの破片化の進行は深刻です。特にプラスチックは、微小な破片となっても自然界では長期間分解されないため、海の流れに乗って広域に拡散し、人の手が届かないところに集積していきます。
- 本結果から見てくる効果的な対策は、全体の8割を占めるトップ10への集中的な対策です。そのためには、全体の4割を占める破片/かけら類の発生抑制が重要なカギとなります。破片/かけら類の多くは、海岸に漂着したものや海洋を長期間漂流中に紫外線による劣化や波浪による衝撃などによって破片化したものと考えられます。よって、破片化する前に海から回収することが急務です。
- 美しい海を取り戻し、それを維持して行くためには、今後もみなさんによるクリーンアップの取り組みが必要です。



### ▲ ICC2014のトップ10割合

### ▼ ICC2014の品目別総合結果

品目	回収数	割合	順位
破片/かけら類			
硬質プラスチック破片	26,061	11.8%	1
プラスチックシートや袋の破片	18,345	8.3%	4
発泡スチロール破片	19,689	9.0%	3
ガラスや陶器の破片	4,893	2.2%	16
陸(日常生活・産業・医療/衛生など)起源類			
タバコの吸殻・フィルター	22,976	10.4%	2
タバコのパッケージ・包装	1,343	0.6%	29
使い捨てライター	2,699	1.2%	24
飲料用プラボトル (ペットボトル)	15,646	7.1%	5
飲料ガラスびん	5,855	2.7%	12
飲料缶	8,506	3.9%	7
ボトルキャップ (プラスチック)	6,841	3.1%	10
ボトルキャップ (金属)	875	0.4%	32
6バックホルダー	22	0.0%	45
フォーク・ナイフ・スプーン	207	0.1%	42
カップ・皿 (紙)	558	0.3%	36
カップ・皿 (プラスチック)	1,451	0.7%	27
カップ・皿 (発泡スチロール)	1,039	0.5%	30
ストロー・マドラー	2,205	1.0%	25
食品の包装・袋	10,836	4.9%	6
食品容器 (プラスチック)	6,698	3.0%	11
食品容器 (発泡スチロール)	4,226	1.9%	17
レジ袋	4,960	2.3%	15
紙袋	1,432	0.7%	28
その他プラスチック袋	6,928	3.2%	9
ふた (プラスチック)	3,902	1.8%	18
洗剤・漂白剤類ボトル	3,305	1.5%	21
生活雑貨 (歯ブラシ、文具等)	3,166	1.4%	23
おもちゃ (ボール、フィギア等)	2,178	1.0%	26
風船	135	0.1%	43
花火	5,147	2.3%	13
家電製品	121	0.1%	44
タイヤ	218	0.1%	41
荷造り用ストラップバンド	801	0.4%	33
プラスチック・発泡スチロール梱包材	4,978	2.3%	14
建築資材 (柱、釘、トタン板等)	3,271	1.5%	22
注射器	368	0.2%	37
海・河川・湖沼(水産・釣り・海上投棄など)起源類			
釣り糸	282	0.1%	39
ルアー (エギ、ワーム)	1,012	0.5%	31
ロープ・ひも	3,646	1.7%	19
漁網	255	0.1%	40
発泡スチロール製フロート	707	0.3%	35
プラスチック製フロート・ブイ	777	0.4%	34
かご漁具	347	0.2%	38
カキ養殖用パイプ (長さ10-20cm)	3,501	1.6%	20
カキ養殖用まめ管 (長さ1.5cm)	7,525	3.4%	8
合計	219,933	100%	

※総合結果とは、ICC期間中(9月、10月)に実施された水際(海岸、河岸、湖沼岸)、水中、内陸会場の総計を示す。